

2022年5月25日

南海電気鉄道株式会社

## 2022年6月1日(水)から、新会社「e スタジアム株式会社」スタート！ ～新会社は、南海電鉄から運営委託を受け、e スポーツ事業を一層推進していきます～

南海電気鉄道株式会社(社長:遠北光彦、以下「南海電鉄」)は、エンターフォース株式会社(以下「エンターフォース」)の代表取締役社長である池田浩士氏との共同出資で4月28日に設立した新会社「e スタジアム株式会社」に、e スポーツ事業の運営委託をし、引き続きウエルプレイド・ライゼスト株式会社や神戸大学と提携し、e スポーツ事業を一層推進していきます。新会社「e スタジアム株式会社」は、エンターフォースから e スポーツ事業(プロ e スポーツ事業を除く)の譲渡を受け、2022年6月1日(水)から e スポーツ事業を開始します。

これまでに、難波を中心としたeスポーツ文化経済圏構築を目指し、2021年7月にはエンターフォースらとともに、eスポーツ体験型ショールーム「eスタジアムなんば Powered by NANKAI」を開設するなど取組みを進めてまいりました(<https://www.nankai.co.jp/library/company/news/pdf/210518.pdf>)。施設開設から約1年が経ち、その間、同施設には150を超える企業・自治体・学校関係者が来場されたほか、eスポーツプレイヤーの活躍舞台「関西eスポーツ学生選手権」を複数回開催するなど、多数の共感と大きな手ごたえを得ました。

この度、2022年6月1日(水)から新たに事業を開始する新会社「e スタジアム株式会社」は、南海電鉄が手掛ける e スポーツに関する「施設運営事業」、「大会イベント事業」の運営を事業の柱とします。また、eスポーツプレイヤーとファンがよりeスポーツを楽しめる環境構築を目指し開発を進めている「オンラインサービス」についても、2022年度内予定の正式サービス開始後、その運営を担います(サービス詳細が決定次第お知らせします)。

南海電鉄と新会社では、これまでエンターフォースが培ってきた e スポーツ事業の理念・ブランドを継承し、この度の推進体制をもって、プレイヤーファーストの精神の下、既存eスポーツ事業者が解決し得なかった業界課題を一つひとつ解決して市場を大きく成長させ、その中での収益化を目指してまいります。

### 【e スタジアム株式会社の概要】 ※詳細は別紙参照

本店所在地 大阪市中央区難波五丁目1番 60 号  
資本金 100万円(南海電鉄:51%、池田浩士氏:49%出資)  
設立 2022年4月28日  
事業開始日 2022年6月1日(水)  
代表者 代表取締役 中川和幸・池田浩士  
事業内容 e スポーツに関する「施設運営事業」、「大会イベント事業」、「オンラインサービス」の運営  
お客さまからの問合せ先 南海電鉄 イノベーション創造室 06-6644-7130



【参考】事業譲渡実行日:5月24日

※本件に関する南海電鉄の「業務組織の一部改正および人事異動に関するお知らせ」を別途公表しています。

以上

別紙

・eスポーツ事業に参入する意義

**eスポーツを取り巻く環境**

- eスポーツはまだ黎明期、業界をリードするのは専業スタートアップ企業
- 大企業は子会社で参入を試みるも、まだ様子見の状態
- 市場拡大の阻害要因の存在

**当社がeスポーツに参入する意義**

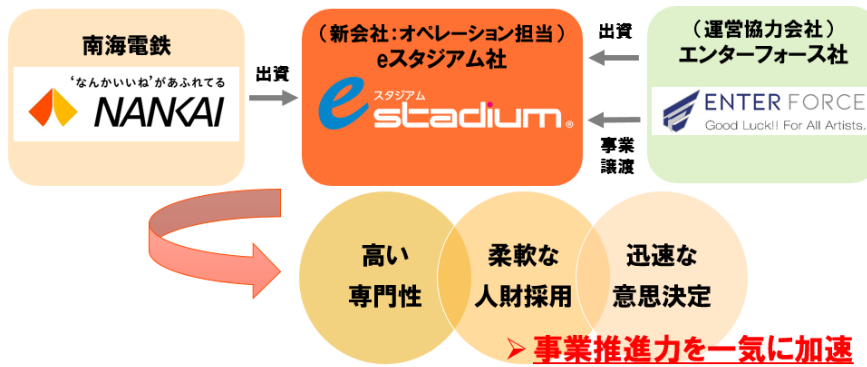
- 当社の企業ブランド力をもって事業を推進することにより、eスポーツ業界の健全な発展を牽引  
 ⇒ eスポーツの認知度や社会的地位の向上
- Z世代と直接的かつ強固なコネクションの構築
- 他者(自治体・企業・教育関係など)との共創により、事業収益の獲得、地域の活性化を実現

**パートナー**

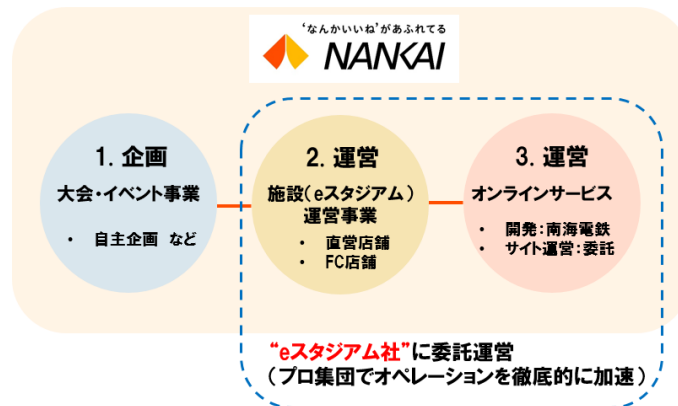
**業界のトップランナーと強固な関係構築**



・事業推進体制



・ビジネスモデル



・2022年度取り組み

**施設運営事業**

- ・ 直営店舗: eスタジアムなんば本店の設置ほか
- ・ FC店舗展開、行政受託

**大会・イベント事業**

- ・ 自主企画(関西eスポーツ学生選手権 年3回) など

**オンラインサービス**

- ・ eスポーツプレイヤー向けWEBサイト (施設会員管理、大会・イベントエントリー、物品販売)

※神戸大学協力のもと、メンタルヘルスに関するセミナーなどを開催予定